

保護者 様

新上五島町立 有川 小学校
校長 永田 庄二郎

学校評価結果

今年度の学校評価の結果をお知らせします。児童のよりよき成長を願って、本校教育の実態を捉え改善を図るために、関係者の皆様からご意見をいただき現在の状況について以下のように評価いたしました。評価した内容については、2月5日に実施致しました学校関係者評価委員会で説明し、御指導いただいた点についてさらに改善しております。次年度以降、この結果を踏まえて、より一層、学校目標の具現化へ向け努めてまいります。

☆ 質問の中で、「思う」「やや思う」という回答のあった肯定的意見の割合を示している。

	評価項目	保護者	職員	児童	改善事項
教科指導の充実	1 お子様は、意欲的に授業に参加していると思いますか。	90%	100%	89%	引き続き、授業改善に努め、児童が意欲的に活動できる授業展開を工夫し、授業研究を進めていきたい。
	2 お子様は、「読む」「書く」「計算する」力が高まっていると思いますか。	84%	100%	85%	チャレンジタイムを中心に基礎・基本の定着を図っている。繰り返しの学習を重視し、今後も工夫しながら基礎学力の定着に努めていきたい。
	3 お子様の学級では授業中の児童の態度について、適切な指導がされていると思いますか。	96%	100%	82%	授業へ臨む姿勢は、学習への意欲の第一歩であると考え、学習へ臨むための基本的な訓練は積極的に今後も継続して指導していきたい。
	4 お子様の学級では、わかりやすい授業を進めるため、指導方法や内容の工夫改善がなされていると思いますか。	94%	87%	88%	今年度は、国語科の説明文の読み取りについて校内での授業研究を進めてきた。教えて考える指導を念頭に授業研究をさらに進めたい。
	5 お子様の学級では個々の理解に応じて、配慮して学習が進められていると思いますか。	85%	86%	90%	個々の児童の実態を的確に捉え、個に応じた効果的な指導を今後も継続していきたい。
	6 TTによる指導（4年生以上算数での複数の教師による個別指導）は効果的だと思いますか。4年生以上のみお答えください。	88%	93%	80%	個別指導を中心にTT指導を実施している。今後も指導方法を工夫しながら進めていきたい。
7 お子様は、家庭での学習が定着していると思いますか。	64%	60%	78%	裏面に掲載	
道徳 同和教育 生活指導	8 お子様は学校生活を楽しく送っていると思いますか。	95%	100%	95%	達成できているという評価である。引き続き児童との積極的な関わりに心がけ、児童理解に努めていきたい。
	9 お子様は、進んで元気なあいさつをしていると思いますか。	66%	7%	76%	裏面に掲載
	10 お子様は、思いやりのある正しい言葉づかいができていますか。	67%	53%	76%	裏面に掲載
	11 お子様は、時間を守り、規律正しい生活ができていますか。	71%	67%	80%	学校生活の中だけでなく、学校保健委員会の活動とも連携しながら、家庭でのよりよい生活の啓発に努めている。今後も継続していきたい。
	12 お子様は、友達とお互いに認め合ったり、励まし合ったりして生活できていると思いますか。	89%	80%	89%	日常生活や道徳の時間の学習、体験学習を通して、児童の豊かな心の育成に努めている、互いに認め合い生活していくことの良さを引き続き指導していきたい。
13 お子様の学級は、いじめなどのない楽しい学校・学級づくりに努めていると思いますか。	92%	93%	85%	日常の観察、教育相談、アンケート等を通じて児童の実態の把握に努め、いじめを許さない学校風土づくりに努めていきたい。	
14 学校は相談事や悩みなどについて、適切に対応していると思いますか。	91%	100%	75%	年2回の教育相談、家庭訪問の他、適宜児童の状況、家庭の状況に応じて対応をするように心がけている。日常的な児童観察を積極的に行い、状況把握に努めたい。	
健康・安全	15 学校では、交通安全や防犯などの安全教育が適切に進められていると思いますか。	93%	93%	99%	全校児童を対象にした年度当初の交通安全指導の他、生活集会、生活連絡会などで適宜繰り返しの指導を進めている。
	16 学校では、児童の健康に関する指導が、適切に行われていると思いますか。	95%	100%	89%	学期2回の体位測定後の養護教諭による健康指導を計画的に進めている。また、保健便り等を通じて、時期に応じた健康に対する啓発活動を進めている。
	17 学校では、児童の体力増進に関する指導が、適切に行われていると思いますか。	93%	87%		年間を通して、有小タイムを中心に体力づくりの取り組みを進めている。特に持久走大会前は、走運動を中心として持久力の増進を図っている。
	18 お子様は、積極的に運動に親しんでいると思いますか。	85%	87%	89%	体育の授業に加えて、年間を通じて全校体育の時間、縦割り遊びの時間を設定し、児童が運動に親しむ機会を設定している。
特活	19 学校で実施する学校行事は、お子様にとって充実していると思いますか。	97%	94%	97%	各行事ごとの評価を実施し、行事ごとの目的に沿った企画運営に努めている。年間を通して学校生活の節目となるような行事を実施していきたい。
環境整備	21 学校の設備は、整理整頓され適切に管理活用されていると思いますか。	90%	100%	92%	施設の老朽化が感じられるが、毎月の安全点検、物品の整理整頓に努め、各種備品等が適切に活用されるように努めている。
	20 学校は、校内の環境美化に積極的に取り組んでいると思いますか。	94%	67%	91%	児童は、年間を通して学級園の栽培活動を実施し、PTAへも協力を呼びかけ除草作業や窓ふき作業などの環境美化に努めている。
地域	22 学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていると思いますか。	96%	100%	97%	月2回程度の学校便りの発行、学年便り、学級便り等の発行を進め、情報提供を行っている。学校ブログには、学校便りと児童の活動をまとめた「四季」を掲載している。
	23 学校では地域の環境や人材が、教育活動に生かされていると思いますか。	84%	67%	77%	個々の行事や学習活動の中で、地域の方、保護者、関係機関の方々にお世話になりながら体験学習などを進めている。
	24 学校は授業参観の実施等、開かれた学校づくりに積極的に取り組んでいると思いますか。	97%	93%		年8回の授業参観、「長崎っこの心を見つめる教育週間」での学校開放、また、諸行事の参観など、保護者、地域へ呼びかけを行っている。

【特に次年度課題となる事項】

☆ 家庭学習の定着のための対応

- ・学校として、統一的な家庭学習についての手引きを作成し、それを基に児童への指導、家庭への協力依頼を行う。また、その結果の経過的な評価、チェックを継続的に進める。
- ・家庭学習を有効に定着させるために、どのような手立てを講じればよいか。充実した家庭学習とはどのようなあり方がよいか。自主的な学習習慣を育てるための手立て等を研究提案する部署を校内研修の中にもうける。
- ・早急な対応として、現在家庭学習指導として各教師が持っている指導資料の収集を行う。

☆ 元気なあいさつの定着のために

- ・引き続き、学級全体での指導、その場その場での指導を共通理解の上、徹底していく。
- ・子ども自身が挨拶について意識できるように、学級での話し合い、児童会での話し合いなど子どもが主体的に考え、取り組んでいくような場を全校的に児童会活動の中で取り組む必要がある。現在の取り組みは形骸化している場面もあるので、全校児童が問題意識をもてるようにしなければならない。
- ・挨拶運動も、子ども主体の形で拡大していくように児童会を中心にして全校の取り組みとして見直す。

☆ 正しい言葉遣い、思いやりのある言葉遣いの指導について

- ・場にあった言葉遣い、授業中の言葉遣い、目上の人への言葉遣いなど、具体的に指導すべき事項として年度当初から全職員の共通理解の上、学級での指導、その場その場での指導を徹底する。
- ・児童自身に考えさせるような学級指導の場面をもうけ、友達への話し方など思いやりのある言葉遣いについて考えさせる。

【その他に記載された事項について】

☆ トイレについて

- ・アンケート取りまとめ後、冬休みにトイレの個室を点検、水量の不具合等の点検をした。また、臭気については薬品を入れるなどで対応しているほか、掃除も徹底するように努めている。

☆ 自転車の安全指導について

- ・計画的に実施するほか、事例に応じて集会等でも指導を行っている。PTA新聞でも取り上げ保護者の啓発を図る予定である。

☆ 夜間の外灯設置について

- ・次年度の設置についての予算計上を検討している。

☆ 授業参観・学級懇談会について

- ・授業参観の回数については、学校開放という目的からも現在の回数を適当と考えている。学級懇談会の回数については、次年度は学級PTAで検討する。回りのあり方についても活性化ができるよう働きかけをする。

☆ 学校行事のお知らせについて

- ・学校便りを通じて、前月にお知らせし、できるだけ変更を少なくするように心がけていきたい。

☆ アンケートへの記名について

- ・学校、保護者ともに協力し学校全体を向上させる建設的評価を求めるという観点から記名式をとっている。